

# リーブラ便り

2011年3月号 VOL. 22



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

## 目次

1. 男女共同参画週間記念フォーラム2011
  2. 平成22年度振り返り&23年度に向けて
  3. 講座案内
  4. 講座報告
  5. 東日本大震災
  6. 心のサポートルーム便り
  7. 男女平等参画情報
- ★別紙 2・3月の新着図書ご紹介

## 男女共同参画週間記念 フォーラム2011

企画運営委員会の手で準備中です。

今年も、男女共同参画週間記念フォーラムが6月18日（土）、19日（日）に開催される予定で、区民参画で手を上げた企画運営委員会の手で準備が進んでいます。

今年の大テーマは、例年のごとく「私」がひらく現在・未来」そして、今年のテーマは運河祭りで集めたアンケートの結果も参考に「女と男、幸せへの近道はここから」に決定し、主講演は落合恵子さんに決めました。

又、今年は委員会での議論を経て、実施企画数を8企画に限定しました。13企画の公募があり、応募者によるプレゼンテーションを実施し、企画審査委員会（委員長・山崎明子氏）の審査でアシストプラン報告を含む8企画と3つの展示が選定されました。応募された13企画はテーマに沿ってそれぞれに意欲的な内容だったので、審査委員会も苦勞されたことと思います。現在はポスターやパンフレット作成のための準備に入っています。

今年はポスターデザインを公募せず、昨年、DV関連作品展示の際に見事な押し花による作品を提出された、雅象彩絵高輪支部の藤原先生の御協力を頂き、絵柄のデザインをお願いしてポスターが創られることになっています。様々なかたちで、フォーラムに参加する活動団体が増えていくことはとても嬉しいことです。

フォーラムはリーブラ推進団体が中心になった実行委員会の手で進められていきます。「私」がひらく現在・未来」「女と男、幸せへの近道はここから」を切り口に、男女平等への道は誰もが幸せへいたる道筋であることを共通の認識として男女共同参画週間記念フォーラムを創って行きましょう。  
実行委員長 宮口高枝

## 22年度振り返り

指定管理も2年目となり経験を重ねた結果、運営・企画とも「利用者の皆様のために」という視点が強化できたように感じています。が皆様の評価はいかがでしょうか。

昨年、事務局が取り組んできたのは「利用者の皆さんが主体的に運営・企画する」仕組みの導入でした。イベントのすべてのプロセスを実行委員会形式に移行するまでには、まだまだ、取り組むべき課題もたくさんありますが、利用者による主体的な係わりを促進できるよう、議論を深めていきたいと考えています。

## 23年度に向けて

23年度も引き続き、「利用者の皆さんの自主的な運営」をテーマに事業を進めていきます。

6月のフォーラムの企画は、既に実行委員会を中心として内容の検討が終わりました。また、今年度以降のテーマとなるのは、若い世代、特に港区で増加傾向にある子育て世代をセンターとどうつないでいくかということとです。

そのための事業は既にスタートしています。「手作りおもちゃ」の講座は子育て世代を対象に開催され、多くの育児中の母親がセンターを訪れました。今後はこうした人たちのネットワークを構築していくことが必要になります。

今年度は従来の利用者を大事にしつつ、これまでセンターに訪れることのなかった人たちに講座を通じて、来館してもらい、認知してもらい、積極的につながるための企画を実施していく予定です。

リーブラの歴史に新しい1ページを加えるべく、利用者の皆さん、港区、そしてリーブラ事務局が三者一丸となって「男女共同参画」実現に向かう決意を新たにしています。

登録団体の皆様とは、様々な場面で、「協働」ができないか、お願いする年になります。これまで以上にリーブラの事業に積極的な参画をお願いします。

リーブラ主催講座  
女性の人生と妊娠をめぐる葛藤  
～選択する、しない、できない～



日程：2011年4月26日(火)  
時間：19:00～21:00  
場所：4階 学習室C  
講師：柘植あづみさん  
明治学院大学教授  
参加費：無料  
対象：どなたでも  
定員：40名(予約先着順)  
申込：電話・FAX・メール・窓口にて受付  
保育：あり・無料※要予約  
(1歳から未就学児まで)  
保育締め切り日  
4月12日(火)まで

妊娠は女性に重い選択を突きつけることがあります。思いがけない妊娠だとしても、人生に大きな影響を与えるでしょう。仕事、結婚、子育て、住む場所など、選ばなければならないことがたくさんできます。

さらに妊娠するための医療技術、妊娠しない、産まないための医療技術が次々と発達し、それらを使うか使わないかの選択までも迫られます。

また、選択したつもりでも、妊娠・出産をめぐるのは次々と予想外のことが生じます。選択できない状況や、選択したくない状況になることもあります。

「少子化」が課題にされながらも、女性の妊娠したい／したくない、産みたい／産みたくない、という気持ちについて話題にする機会はあまりありません。

講師の柘植あづみさんから、調査してきた事例を紹介していただきながら、他の女性がどんな体験をして、どんな選択をしたかを知って、自分の「選択」について考えてみませんか。

平成23年度パワーアップ事業  
連続講座「おんなからおんなへ  
つたえるもの、のこしたいもの」

自主ドキュメンタリー映画上映と  
遺言ワークショップの2回連続講  
座です。

◆第1回  
自主ドキュメンタリー映画「海岸  
通団地物語～そして、わたちの人生  
はつづく～」上映(DVD・74  
分)と監督杉本暁子さんの話

日程：2011年4月9日(土)

時間：14:00～16:30

場所：4階 集会室

参加費：500円

定員：40人(予約先着順)

横浜みなとみらいにある古びた  
団地に興味を持った“わたし”が、  
住む人々と出会い、カメラを手に  
通い続けた一年を描いた作品です。  
そこに生きる女性に惹かれ、それ  
ぞれの暮らしに触れた監督のお話  
を伺います。

本作品完成後の今も  
団地と人々の現在を  
とり続け次作に取り  
組んでいます。建て  
替え完了まで撮影は  
続きます。



◆第2回  
女と遺言ワークショップ「私が遺  
したいもの 遺したくないもの」

日程：2011年4月16日(土)

時間：13:00～16:00

場所：4階 集会室

参加費：500円

講師：町田美千代さん(特定非営  
利活動法人 女の空間NPO)

定員：20人  
(女性限定・予約先着順)

遺言にするほどのものはないと  
考えている私たちのための講座で  
す。大切なもの、遺したい思いを  
探すために、わたしの今に向き合  
う時間を作りませんか。一緒に考  
えて、言葉にしてみると気持ちが  
軽くなるかもしれません。軽やかに  
生きるための新しい風をつくり  
ましょう。

主催/申込み：特定非営利活動法  
人 ヒューマンサービスセンター  
電話 03-5449-6577  
FAX03-5449-0086



平成23年度学習活動支援事業  
講演「夫婦二人三脚でアジアの女性の  
地位向上に邁進する日々」(仮)

日程：2011年5月28日(土)

時間：13:30～15:00(予定)

場所：5F ホール

講師：北谷勝秀さん

参加費：無料

対象：どなたでも

定員：80名

(予約不要・先着順)

主催/申込み：創作絵画どんぐり

中村 03-3585-4560

保育：あり・無料 ※要予約

(1歳から未就学児まで)

保育申込締め切り日

5月13日(金)まで

講師の北谷勝秀さんは国連を引  
退後、昭子夫人と力を合わせてア  
ジアの女性支援のNPOを作って活  
動を続けています。

現場を知り、世界の矛盾を是正  
する為には何から手をつけるべき  
か? 辿り着いた答えは「女性の地  
位向上」でした。女性がパワー  
アップすれば世界が良くなる。

では、具体的に何をするか? 自  
分にできることは何か? 皆さんと  
同じように北谷夫妻もよく考えて  
実行に移しました。

女児達に就学の機会を与える奨  
学金制度です。また、女性の地位  
向上には収入の道を得ることだ、  
と蚕を育てて絹製品をつくり販売  
できるようプロジェクトを立ち上  
げました。女性の健康問題にも取  
り組んでいます。妊娠出産のダ  
メージを克服して衛生的で健康な  
生活を送れるように手を差し伸べ  
ています。20年近く地道に続け  
られてきたこれらの成果が今、  
続々と実を結んでいます。

自分たちでできることをやるし  
かないと考えました。何かを始め  
よう、悔いの無い人生を送ろうと。

NPO活動を始めてみたい! 始め  
てます! という方に。

\*\*\*\*\*  
普段創作絵画、絵手紙の活動をし  
ている、リーブラ一般団体どんぐ  
りによる、熱い思いのこもった企  
画です。リーブラ学習活動支援事  
業です。是非お誘い合わせの上ご  
参加ください。



---

## 好きなことを仕事にする ～伝えたい、成功の秘訣～

---

2月28日、冷たい雨のせいで、参加者が25名と定員を割り込んでしまいましたが、皆さん熱心にメモを取るなど講師の話に聞き入っていました。

港区で創業3年目と23年目を迎える女性経営者2組3人の経験談は、これから創業しようとする参加者に大いに参考になったようで、講座満足度は86%に達しました。

起業から安定経営まで、業種は異なっても、経営者としての人間的魅力、他社との差別化、ネットワークの重要性等、ビジネスには共通する成功の秘訣があることを理解していただけたようです。港区の創業支援施策にも興味関心をもたれました。

自立してビジネスを展開する経営者の話は、身近な女性の生き方のロールモデルとして、夢の実現を目指す参加者に「あなたにもできる」というメッセージを届け、起業への一歩を踏み出す勇気を与えた講座となりました。

参加者の皆様の夢の実現を心から祈ります。

---

## リーブラフェスティバル2011 大学生企画 尊重し合うコミュニケーション

---

2月12日、リーブラフェスティバル2011において、22年度リーブラ・インターンシップ生による「尊重し合うコミュニケーション」が開催されました。本事業のために9名のインターンシップ生たちは約半年間かけて準備を行い、男女平等参画をテーマに企画を立案、チラシやポスター制作、当日のプログラム及び運営まで、すべて学生の方で進めることができました。当日は、学生を含め、様々な年代の方々26名（女性18名、男性8名）が参加、学生ならではの視点で作った寸劇を上演、学生の司会進行によって、参加者とともに座談会を行いました。8大学から集まった学生たちは、このフェスティバルの事業を最後に、8月から半年間のリーブラ・インターンシップを卒業しました。

---

## リーブラ・たかほま保育室共同講座 保育の現場に生かす！個性を育てる 保育とは？～男女平等で自分らしく 生きるために～

---

港区緊急暫定保育室たかほま保育室より男女平等保育の研修依頼を受け、芝浦港南地区の保育士にも呼びかけ、リーブラと共同で「保育の現場に生かす！個性を育てる保育とは？～男女平等で自分らしく生きるために～」講座を3月4日に実施しました。

講師の文京学院大学教授の松村和子先生は、都内幼稚園の副園長もされており、保護者に対する支援から、こどもへのほめ方などの言葉の問題、集団統制としての男女別カテゴリーが生む弊害など、保育の現場に即したジェンダーにとらわれない保育のあり方について豊富な実践例を交えてお話ししていただきました。

ジェンダーにとらわれない保育の重要性について、参加者（女性23名・男性7名）の関心は高く、研修後のアンケートでは、今回の研修が今後働いていく上で有益な内容であったとの感想が93%、どちらかというところから有益が7%という結果でした。こどものころからの男女平等理解の促進に対する、保育の現場での理解も深まりました。

今後もリーブラではこのような講座を積極的に展開していきたいと思えます。

---

## リーブラ インターンシップ生の感想

---

私たちインターンシップ生が行った「尊重し合うコミュニケーション」には多くの方に参加いただき、充実した企画になりました。特に座談会では、想像を超えるほど様々な視点から話し合うことができました。この企画が成功した背景には8月のインターンシップから企画当日までの約半年に及び話し合いがありました。当初は、企画として形になる気配がなくとても不安でした。1人1人強い思いを持っているがゆえに衝突したり、話し合いの時間が伸びてしまう時もありました。しかしこの思いを言い合った時間があったからこそ、魅力ある企画になったと思っています。今思い返すと、あの話し合った濃い時間がとても辛くて、とても楽しかったです。（インターンシップ生一同）

---

## 企業向け出前講座 ワーク・ライフ・バランス講座

---

3月7日、区内で創業100年をこえる伝統あるメーカーで「ワーク・ライフ・バランス講座」を実施しました。

今回の対象者は社内でも残業が多い部門の男性管理職。ワーク・ライフ・バランスの概念を導入するとともに、自らの「時間の使い方」を見直し、部門全体の「残業時間削減」の具体的なアクション計画まで作成する内容でした。

部門横断のグループワークでは、残業時間削減に向けて①会議の時間短縮②時間に対する意思を高める③業務内容の見直し④何が何でも残業しない日を決めるなど、活発な意見交換がなされ、部門共通の問題も浮き彫りとなりました。

また、一日の時間の使い方を見直すことで、①家族・子供との時間が少なすぎる②ライフ（私）の部分があまりにもおろそか、といった気づきもあり、仕事と生活のバランスを改めて意識し実感する機会にもなりました。

アンケートでは「わかっているが実現できない。」という感想もありましたが、本講座が各人が当事者意識を持ち、課題に根気強く本気で取り組む意識づくりの土台となることを期待し、今後の動向も確認していきたいと思えます。

---

## 港区まちづくり区民円卓会議 —自立した一生を送るために—

---

2月5日、学習活動支援事業「港区まちづくり区民円卓会議—自立した一生を送るために—」が開催されました。女性が自立した一生を送る時に遭遇する「法律や制度のしくみ」を、結婚・離婚・再婚というテーマで学ぶという画期的な企画で、28名の方々に参加されました。講師の弁護士・吉岡睦子さんは、事実婚・夫婦別姓・子どもの親権・婚外子・財産の分割などの法律知識について事例に基づいて丁寧に説明され、「分かりやすい講義で理解することができた」と好評でした。講義の後、参加者からは財産分与や選択的夫婦別姓についての具体的な質問も出され、意見交換も活発に行われました。今後も、リーブラでは、女性が自立した一生を送るための学習機会の提供に、継続して取り組んでいきます。

東日本大震災当日とその後  
皆様のご理解・協力をお願いします

リーブラ相談室  
心のサポートルーム便り

未曾有の大地震の報道に心を痛める毎日が続きます。被災地の皆様に日常が訪れる日はまだまだ先のことになると思いますが、一日も早く悲しみから立ち直られることを心よりお祈りいたします。

3月11日、地震発生の瞬間、スタッフは館内を走りながら「身の安全を確保してください!」「机の下に入ってください!」と各階の利用者に声を掛けて回りました。それほど長い時間、地震の揺れが続きました。利用者の皆様はパニックになることも無く、大変落ち着いた行動を取っていただき、けが人も無く不幸中の幸いにスタッフ一同とりあえず胸をなでおろしたものでした。

その夜、芝浦港南支所は帰宅困難の人たちの緊急避難所になり、100人近い人たちが不安な一晚を過ごしました。

我々もこれまで経験したことのない大きな地震の不安を胸の奥に秘めながら、公共の施設の職員として責務を果さなくてはと奮闘した一夜でした。

その後、業務を縮小して運営にあたりましたが、施設のご利用を予定していた団体・個人の皆様や、講座に参加を予定していた皆様等、多くの方にご不便とご迷惑をおかけしました。今後、計画停電期間中の節電協力や交通システムの乱れ、余震の可能性など、不確定な状況で運営にあたりますが、引き続き利用者の皆様のご協力・ご理解をお願いいたします。

リーブラの業務状況に関しては随時ホームページ <http://www.minatolibra.jp/> でお知らせしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

内閣府では、2月から3月、「配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業」として、性暴力やDV（ドメスティック・バイオレンス）に苦しむ人々が気軽に相談できる24時間無料の相談電話「パープルダイヤル」を実施しました。リーブラ相談室でも、22年度はDV問題に力を入れて取り組み、法テラス東京との共催事業をはじめ企画しました。今後、東北関東大震災の影響によって社会に不安が広がり、男女平等問題がますます表面化しにくくなることが考えられます。23年度の相談室では、震災による男女平等問題に積極的に取り組んでいきます。

＜開室曜日・開室時間＞

火曜日 16:00～20:00  
水曜日 10:00～16:00  
金曜日 10:00～16:00  
金曜日 18:00～21:00

**03-3456-5771（専用）**  
※ご予約やお問い合わせも  
専用電話にご連絡ください。

＜男女平等関連情報＞ 国際女性DAY

3月8日は国連が1975年に定めた「国際女性の日」。女性たちが、平等、安全、開発、組織への参加のための努力により、どこまで可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う場として設けられた記念日です。この日は、1857年の3月8日、ニューヨークの被服工場で働く女性たちが賃金・長時間労働に抗議をおこなったことを起源として、1908年の3月8日に女性労働者たちがパンとバラを掲げてデモをおこなったことから、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルにして、世界各地でさまざまなデモやイベントが例年開催されてきました。

今年、日本では「ジェンダー平等実現へ」、「職場の男女平等と実効ある両立支援制度の確立」、「個から共生へ」、指輪の「収益金で途上国の女性支援を」など様々なスローガンやテーマで、労働組合やNGOなどの団体が各地でイベントを展開しました。国連では2月にUNウイメン（ジェンダー平等及び女性のエンパワメントのための国連組織）が発足しています。性差別是正の取り組みが遅々として進まない日本の現状の打開に向けて、女性自身が問題意識を共有し、連帯・協同の重要性を再確認する日として、この日を大切にしていきたいと思えます。

2011年3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
業務を縮小して運営						
20	21	22	23	24	25	26
業務を縮小して運営						
27	28	29	30	31		

※地震の影響で、業務を縮小して運営しました。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	<a href="http://www.minatolibra.jp/">http://www.minatolibra.jp/</a>
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 *祝日はその曜日に合わせての閉館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日：2011年3月25日